

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成19年度実績)

進行管理項目	目 標		実 績				担当課	
	年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
				事業量	当該事業の予算実績 (千円)			

1 きよらかな水環境保全プロジェクト

1	水質に関する環境基準項目の達成率 人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)	H22 100%	H19 100%		1,156	◎	目標を達成している。 今後も監視を継続していく。	環境政策課
2	水質に関する環境基準項目の達成率 生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目:河川)	H22 95%	H19 90.5%		3,249	○	平成18年度より上昇した。 今後も監視を継続していく。	環境政策課
3	水質に関する環境基準項目の達成率 生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目:海域)	H22 90%	H19 90%		5,880	◎	目標を達成している。 今後も監視を継続していく。	環境政策課
4	ホームページ「水環境情報ステーション」サイトの開設	H22 サイトを開設	H19 開設済		0	◎	平成17年度公開済み。	環境政策課
5	宍道湖・中海におけるCODの生活系負荷の削減	H22 平成8年度比5割程度を削減	H19	3,416Kg/日→1,894Kg/日(H18) 45%削減	0	○	概ね達成。	環境政策課
6	宍道湖・中海に流入する河川流域の小中学生による河川調査参加校数	H22 50校	H19 44校		2,901	○	学校統合等により参加校数が減少した。 教育委員会の理解・協力を一層得たい。	環境政策課
7	汚水処理人口普及率	H22 72%	H19 66.4%(21市町村)		-	○	・年次計画目標を達成している。 ・地域の特性に応じた効率的な整備促進 ・整備の遅れている地域の事業促進	下水道推進課
8	河川工事における多自然型川づくり	H22 多自然型川づくりを推進	H19 3936m		272,200	○	引き続き多自然川づくり推進を継続していく。	河川課

2 安全・安心確保に向けた化学物質の管理推進プロジェクト

9	アスベストに関する相談体制	H18~ 総合相談窓口を開設するなど相談体制を強化	H19	フリーダイヤルの相談窓口の継続	0	◎	今年度も引き続きフリーダイヤルによる相談業務を実施する。	環境政策課
10	アスベスト対策の周知・情報提供	H18~ 広報啓発活動や研修会などを通じ情報を提供	H19	啓発用パンフレットの作成を行った。	577	◎	引き続き啓発活動等を実施する。	環境政策課
11	ダイオキシン類に係る環境基準達成率	H22 100%	H19 97%		11,104	△	馬潟工業団地内水路において2地点で環境基準を超過した。直ちに原因究明と対策に向けた対策委員会を開催している。	環境政策課
12	市町村のごみ焼却施設数	H22 12施設 (H16年度から1施設減らす)	H19 13施設		2,064	○	H19年度に着工、H21年度に完成予定。その後2施設廃止予定。	廃棄物対策課
13	市町村のごみ焼却施設から発生するダイオキシン類の排出削減割合	H22 H15年度比3割以上を削減	H19 6割削減		0	○	順調に削減されている。	廃棄物対策課
14	馬潟工業団地周辺水路におけるダイオキシン類に汚染された底質の除去	H19 除去を完了	H19 対策完了		4,285	◎	底質の除去対策等の完了。	環境政策課
15	PRTR制度の普及啓発	H18~ 対象事業者からの確実な届出提出を実現	H19	届け出処理(317件)	0	◎	引き続き制度の普及啓発を実施。未届け事業者をなくす。	環境政策課
16	PRTRデータの活用の推進	H18~ 事業者、県民、行政が相互理解を図るための場づくりを推進	H19	場作りを推進するための事業者アンケートを実施	0	◎	排出量の上位50社に対してアンケートを実施。	環境政策課

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成19年度実績)

進行管理項目	目 標		実 績				担当課	
	年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
				事業量	当該事業の予算実績 (千円)			
3 環境への負荷の少ない持続的に発展する「しまね循環型社会」推進プロジェクト								
17 一般廃棄物の処理(排出量)	H22	H11年度(258千トン)比5%以上を削減(目標245千トン)	H19	274千トン(H18実績)	830	○	循環型社会の取り組みがある程度普及した。引き続き啓発する。	廃棄物対策課
18 一般廃棄物の処理(再生利用率)	H22	28%以上(サーマルリサイクル量を考慮する場合は32%以上)	H19	21.1%(H18実績)		○		廃棄物対策課
19 一般廃棄物の処理(最終処分量)	H22	H11年度(55千トン)比51%以上を削減(目標27千トン)	H19	58千トン(H18実績)		○		廃棄物対策課
20 産業廃棄物(農業以外)の処理(排出量)	H22	H11年度(1,622千トン)と同等以下	H19	1,629千トン(H18実績)	893	○	引き続き減量化を働きかけていく。	廃棄物対策課
21 産業廃棄物(農業以外)の処理(再生利用率)	H22	64%以上	H19	55.9%(H18実績)		○		廃棄物対策課
22 産業廃棄物(農業以外)の処理(最終処分量)	H22	H11年度(441千トン)比52%以上を削減(目標212千トン)	H19	285千トン(H18実績)		○		廃棄物対策課
23 産業廃棄物(農業)の処理(家畜ふん尿再生利用率)	H22	100%	H19	99%(H19実績)	648	○	引き続き家畜糞尿利用率向上に向けて働きかけていく。	農畜産振興課
24 産業廃棄物(農業)の処理(廃プラスチック類の再生利用率)	H22	80%	H19	87.6%(H19実績)	308	◎	引き続きリサイクル率向上に向けて働きかけていく。	農畜産振興課
25 県民の循環型社会に関する関心度	H22	100%	H19	94%(H18実績)	4,725	○	今後ともごみ減量化や再生利用等を推進するため啓発を進めていく。	廃棄物対策課
26 エコショップ認定店舗数	H22	300店舗	H19	累計281店舗(H19認定2店舗)		○		今後ともごみ減量化や再生利用等を推進するため働きかけていく。
27 グリーン製品認定製品数	H22	120品目	H19	172品目	512	◎	目標を達成している。今後も品目数の増加を目指す。	環境政策課
28 公共関与による産業廃棄物最終処分場の管理型容量の確保	H22	75.3万㎡	H19	28.7万㎡(H17末) 46.6万㎡(H18~19)	123,285	◎	H19年11月工事完了、供用開始。	廃棄物対策課

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成19年度実績)

進行管理項目	目 標		実 績				担当課	
	年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
				事業量	当該事業の予算実績 (千円)			
4 循環型社会を構築する環境関連産業振興プロジェクト								
29	H19	資源循環型技術開発補助金により支援する研究開発件数 累計9件	H19	累計5件 (H19補助1件)	6,095	×	H19年度末で累計5件となっている。今後も優良な案件には支援を行っていく。	産業振興課
30	H18~	環境・エネルギー産業の企業誘致 誘致活動の重点分野の一つとする	H19	-	-	◎	国産材の活用による合板製造を行う事業所2社の立地計画を認定した。引き続き、環境・省エネルギーに配慮した企業誘致を推進する。	企業立地課
5 自然と共生する島根ふれあい四季空間創造プロジェクト								
31	H19	三瓶自然館、宍道湖自然館、しまね海洋館の入場者数 70万人	H19	三瓶自然館等入場者数 196,812人	304,500	◎	石見銀山効果等によるものと推定。	自然環境課
			H19	しまね海洋館入場者数 521,743人	193,000		平成19年度目標400,000人を達成した。	地域政策課(地域振興室)
			H19	宍道湖自然館入場者数 152,480人	103,100		平成19年度目標100,000人を達成した。	水産課
32	H22	自然観察モデルコースの選定 20か所	H19	通算16箇所(H19選定0箇所、船通山改訂ガイドブック作成)	452	×	H19年度で事業終了。自然観察会やエコツアーの普及等により、自然解説等の人材確保のニーズが高まっているため、この事業に替えて今後は自然解説ボランティア等の育成を強化する。	自然環境課
33	H22	みんなでつくる自然観察の森の選定 新たに5か所	H19	通算2箇所(H19選定0箇所)	0	○	みんなで守る郷土の自然と合わせて年1箇所を選定することに変更。(総合発展計画)	自然環境課
34	H22	ボランティアを対象とした研修会の開催 3回/年	H19	4回	251	◎	今後も計画的に実施する。	自然環境課
35	H22	県立自然公園の公園計画 公園計画を見直す	H19	なし	0	△	緊急性のあるものから順次見直しを行う。	自然環境課
36	H22	県民1人あたりの公園面積(都市計画区域内) 概ね20㎡	H19	17.6㎡/人	238,000	○	引き続き、都市公園の早期供用を目指し、継続して整備に努める。	都市計画課
37	H22	自転車道の整備 46.6km	H19	累計45.6km(H19整備0.48km)	30,000	○	概ね順調に進捗している	道路維持課
38	H22	鳥獣保護区の指定 85か所	H19	84か所	1,396	○	平成19年度に新規の保護区1箇所設定。なお、既指定保護区は、地域住民と合意形成を図りながら更新し、管理を実施していく。	森林整備課(鳥獣対策室)
39	H22	特別鳥獣保護地区の指定 12か所	H19	12か所		◎	既指定特別保護区は、地域住民と合意形成を図りながら更新し、管理を実施していく。	森林整備課(鳥獣対策室)
40	H22	「みんなで守る郷土の自然地域」の選定 55か所	H19	通算53か所(H19選定1か所)	357	○	みんなで親しむ自然観察の社と合わせて年1箇所を選定することに変更(総合基本計画)	自然環境課

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成19年度実績)

進行管理項目		目 標		実 績				担当課	
		年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
					事業量	当該事業の予算実績 (千円)			
41	絶滅危惧Ⅰ類から抽出する重点対策種18種の保護対策	H22	適正な保護対策を講じる	H19	5種(ウスイロヒヨウモンモドキ、アカヒレタビラ、オニバス、ヒメバイカモ、ダイコクコガネ)	844	○	今後も適正な保護対策を実施していく。	自然環境課
42	ラムサール条約登録湿地の「賢明な利用」のための県民の交流や情報交換等の機会の回数	H18~	3回以上/年	H19	3回	2,193	◎	6、11、2月に実施。毎回テーマを替えて計画的に実施した。	自然環境課
43	景観形成住民協定の認定件数	H22	70件	H19	61件	0	○	概ね順調に進捗している	都市計画課
44	築地松保全協定数	H22	150件	H19	152件	3,713	◎	築地松が残存している地区では概ね住民協定が締結されている	都市計画課
45	電線類地中化延長	H20	35km	H19	累計29.74km(H19整備1.84km)	道路維持課 424,000 都市計画課 348,000	△	年次計画を若干下回っている。H21計画見直し予定。	道路維持課 都市計画課
46	景観条例・景観形成基本計画の策定市町村数	H22	13市町村	H19	6市町	5,055	○	概ね順調に進捗している	都市計画課 (景観政策室)

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成19年度実績)

進行管理項目	目 標		実 績				担当課	
	年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
				事業量	当該事業の予算実績 (千円)			
6 恵み豊かな森林・農地の保全と活用プロジェクト								
47	H22	31,780ha	H19	H16～H19累計22,673ha (H19実績6,800ha)	549,307	○	計画以上の達成状況。今後とも間伐を中心として施業を行う。	森林整備課
48	H22	20,000㎡	H19	23,876㎡	61,856	○	概ね計画どおりの進捗状況。目標達成に向けて徹底した防除を実施する。	森林整備課
49	H21	3,500ha	H19	累計1,428ha(H19再生899ha)	258,072	○	制度の拡充等により、整備が順調に進んだ。引き続き整備の促進に努める。	林業課
50	H22	21市町村(全市町村)	H19	16市町村		○	国事業等の導入にあわせて策定が進んでいる。引き続き全市町村策定に向け推進を図る。	農畜産振興課
51	H22	159,000㎡以上	H19	148,000㎡		○	年次計画より若干下回っている。目標達成に向け新たに県産材の需要の開拓、「しまねの木の家」の普及PRや建築促進を図る。	林業課
7 「地球を守る」しまね地球温暖化防止プロジェクト								
52	H22	H2年度比2%削減	H19	12.9%増加(H17排出量)	22,350	△	民生業務部門や家庭部門を中心に排出量が増加している。平成20年度からは多くの県民や事業者が参加できる「しまねCO2ダイエット作戦」を展開し、目標の達成を目指す。	環境政策課
53	H22	10,000人	H19	3,993人	4,252	○	平成19年2月に開発したインターネット利用システム普及を図り、目標達成を図る。	環境政策課
54	H22	1,050社	H19	910社	4,500	○	順調に登録数が増加しており、目標達成可能。	環境政策課
55	H22	21市町村(全市町村)	H19	1市(松江市)	0	○	平成20年度には全ての市町村で設立される予定であり、目標達成可能。	環境政策課
56	H22	3箇所	H19	5箇所(H18解消3箇所、H19解消2箇所)	0	◎	一般国道9号出雲バイパスの開通により出雲市内の2箇所の渋滞ポイントの解消。	道路建設課
57	H22	50%	H19	39.10%	0	○	平成18年度から9.4ポイント伸びており、目標の達成に向け、引き続き県民への普及啓発を行う。	環境政策課
58	H22	149,000トン	H19	88,900トン	4,955	○	順調に推移しており、今後も、大規模な風力発電施設が建設あるいは計画されているなど、目標は達成できる見込みである。	土地資源対策課 地域エネルギー スタッフ

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成19年度実績)

進行管理項目	目 標		実 績				担当課	
	年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
				事業量	当該事業の予算実績 (千円)			
8 みんなで取り組む島根の環境づくり推進プロジェクト								
59	県内の小中高校・特殊教育学校における「学校版エコライフチャレンジしまね」への参加率	H22 100%	H19	20.80%	0	○	小学校67校(26.0%)、中学校23校(21.3%)、高校1校(1.7%)。各学校へ出向くなど、学校への働きかけを強化する。	環境政策課
60	子どもエコクラブの交流会開催数	H18～2回以上/年	H19	2回	352	○	7月に益田市、2月に大田市で開催。今後も引き続き県西部と東部で開催する。	環境政策課
61	環境アドバイザー派遣数	H22 20回以上	H19	19回	370	○	各方面へ環境アドバイザー制度の普及に努めた結果、ほぼ達成できた。今後も広く制度の普及に努める。	環境政策課
62	緑の少年団数	H22 90団	H19	92団	1,800	◎	H19に11団体の新規加入あり。地域の緑の少年団をはじめ、新たな団の結成の促進に努める。	林業課
63	環境保全活動に関するNPO法人数	H22 100法人以上	H19	76法人	0	○	ほぼ順調に推移している。	NPO推進室
64	(財)島根ふれあい環境財団21と環境保全活動団体との交流会開催数	H18～10回以上/年	H19	17回	5,555	○	ふれあい環境助成金の事業や、各団体からの依頼に応じるなど様々な機会を通じて交流会の実施に努めている。	環境政策課
65	(財)島根ふれあい環境財団21と環境保全活動団体との共同企画事業数	H18～1回以上/年	H19	7回	40	○	地球温暖化防止、自然環境の保全、環境学習などのテーマを中心に共同企画事業を実施している。	環境政策課
66	地域の人・自然環境資源を活用した「しまね田舎ツーリズム」	H18～推進する	H19	新規登録25団体	10,982	○	県内に着実に取り組みが広がりがつつある。今後はネットワークを充実させ、質的な向上及び、さらなる交流促進を図る。	地域政策課
67	島根、鳥取県民参加による宍道湖・中海一斉清掃の実施数	H18～1回以上/年	H19	1回	474	○	6月11日に開催。約6,000人が参加し16tのごみを収集。も関係自治体が連携して継続実施する。	環境政策課

※ 凡例 ◎は達成済み、○は目標年度までには達成する見込み、△は目標年度までに達成困難、×は目標年度までに達成できなかった